

1. 鳥取県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	271,574,565	
	内訳	うち、国費相当額	134,787,283
		うち、地方負担相当額	136,787,283
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	49,473	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	53,033,634	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	218,590,404	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	109,295,202
		うち、地方負担相当額	109,295,202
		うち、負担附寄附金等	0

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		218,590,404	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		235,911,000	
⑩	保有割合		0.927	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)	
		合計	一般財源等					基金充当額
1	環境教育・実践推進事業	21,264,389		21,264,389	うち49,473円は基金運用益を充当	66%	22,654,000	66,562,000
2	若者がつなぐトットリボーン！促進事業	8,601,676	420,000	8,181,676	事業名の変更により令和6年度以降は「トットリボーン！普及啓発事業」	53%	18,456,000	58,456,000
3	水素エネルギー啓発事業	777,002		777,002		63%	1,000,000	3,000,000
4	鳥取スタイルPPA導入推進事業	3,515,500		3,515,500		56%	6,000,000	18,000,000
5	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	7,764,622		7,764,622		41%	7,188,000	21,564,000
6	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	1,890,984		1,890,984		69%	3,813,000	11,439,000
7	自然共生サイト保全活動推進事業	2,540,095		2,540,095	事業名の変更により令和6年度以降は「自然共生サイト保全活動推進事業」及び「自然共生サイト企業等連携促進事業」	53%	2,129,000	6,387,000
8	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	5,063,585		5,063,585		52%	15,624,000	35,624,000
9	“ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	1,250,000		1,250,000	事業名の変更により令和6年度以降は「“ラムサール条約登録湿地” 中海水質浄化対策推進事業」	10%	1,408,000	9,224,000
10	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	785,781		785,781	事業名の変更により令和6年度以降は「三湖沼水質浄化対策推進事業」	37%	1,885,000	5,655,000
15		0						
合計		53,453,634	420,000	53,033,634			80,157,000	235,911,000

4. 基金事業の目標に対する達成度

<p>成果指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数 200人（令和8年度） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 150人（令和8年度） ○エコ宣言の数 30,000人（令和8年度） ○こどもエコクラブ登録人数 10,000人（令和8年度） ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数 10万人（令和8年度） ○一般廃棄物排出量 193千トン ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数 45団体（令和8年度） ○”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業における普及啓発実施拠点累計数：40拠点（令和8年度）
<p>成果実績</p>	<p>【累計実績（H30～R5）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ゼロカーボン普及促進事業」にかかわった人数：5,475人…53% ○水素エネルギー普及啓発イベントの来場・参加者数：3,137人…63% ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）登録人数：152人（累計 250人） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数：13人（累計 114人） ○エコ宣言の数：7,137人（累計 11,158人） ○こどもエコクラブ登録人数：959人（累計 9,408人） …66% ○太陽光発電相談対応件数：12件（累計 12件） ○持家着工数における太陽光発電導入割合：35% …56% ○「とっとり自然環境館」及び「とっとり水素学習館」の合計来場者数：76,472人 … 76% ○一般廃棄物排出量：21,023トン減 …81% ○ごみゼロ社会実現化プロジェクト事業における啓発活動実施累計件数：10回…41% ○プラごみ削減取組協力企業等の登録件数：62件…69% ○県内において希少生物の保護や外来生物の防除等の生物多様性の保全に係る活動への参加団体数：21団体…53% ○木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合：38%…52% ○「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数：17団体…37% ○”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業における普及啓発実施拠点累計数：4拠点…10%
<p>目標値</p>	<p>100%</p>
<p>達成度</p>	<p>55%</p>

令和 5 年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 温室効果ガス削減、持続可能な社会の構築を推進するため、県民、団体、事業者、行政等の各主体で一体となった県民エコ運動を展開する中で、環境教育と実践活動との連携や情報発信の強化に重点をおき、県民の環境への関心を高め行動につなげるための環境教育、普及啓発、活動支援等に取り組む。また、県内全域に数多くある多種多様な再生可能エネルギー施設（とっとり次世代エネルギーパーク）を活用して、エネルギーを通じた環境教育活動や環境保全活動を推進する。</p> <p>【目標】 ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）の新規登録者数 ・98人（平成30年4月）→200人（令和8年度までの累計新規登録者） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー登録人数 ・101人（平成30年4月）→150人（令和8年度までの累計新規登録者） ○エコ宣言の数 ・4,020人（平成30年3月）→30,000人（令和8年度） ○子どもエコクラブ登録人数の新規登録者数 ・8,449人（平成30年3月）→10,000人（令和8年度までの累計新規登録者）</p> <p>【令和5年度実績】 ○地球温暖化防止活動推進員（エコサポーターズ）新規登録者数23名（累計90名） ○とっとり環境教育・学習アドバイザー新規登録人数 0名（累計85名） ○エコ宣言の数 1,212名（累計11,158名） ○子どもエコクラブ新規登録人数 304名（累計9,408名）</p>

2. 概要

<p>家庭、地域、企業、NPOなど全ての主体が、連携・協働して県民運動的に環境配慮活動を実践するため、地球温暖化防止活動や環境管理システムの普及啓発、人材育成及び活動支援を行う。また、地域の未来は県民みんなで創り出すものとの認識のもと、環境の様子や変化に気づき、環境問題の解決に向けて自ら考え行動する人を育てるため、幼児から大人まで全ての世代を対象に環境教育・学習を推進する。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定、令和4年3月改訂） ○地球温暖化対策推進法→鳥取県地球温暖化対策条例 →鳥取県地球温暖化防止活動推進センター指定要綱 →鳥取県地球温暖化防止活動推進員設置要綱 ○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度運営要領 ○TEAS取組校へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○自治会等へのとっとり環境教育・学習アドバイザー派遣要領 ○子どもエコクラブ事業実施要領（（公財）日本環境協会（子どもエコクラブ事務局）作成） →鳥取県子どもエコクラブ活動支援補助金交付要綱 ○鳥取県環境保全活動支援補助金交付要綱</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 地球温暖化防止活動・環境教育推進事業	<p>鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの運営業務として、地球温暖化防止活動や環境教育との連携を図りながら、官民一体となって推進する業務を民間団体に委託し実施した。</p> <p>○地域で環境活動を推進する人材の育成・支援 推進員研修会を開催し、その場でCOP28の報告会を行うことで、推進員としての視野を広げる場を設けた。また、オンライン会議形式で推進員のスキルアップ研修（2回）を開催し、専門知識の向上、意識を高めることにもつなげた。</p> <p>○地球温暖化防止活動・実践方法の情報発信・普及啓発 Webサイトへの啓発動画の掲載やイベントのブース出典、関係者へのメール発信等により、地球温暖化防止活動・実践方法の情報発信・普及啓発を実施した。</p> <p>○とっとり環境教育・学習アドバイザー制度の運用 TEAS参加学校等を中心に、アドバイザー派遣を行い、学生に地球温暖化防止についての基礎知識を身につけてもらう場を設けた。</p>

令和 5 年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

(2) 環境実践活動普及啓発事業	<p>メディアとの連携、WEBの活用等により地球温暖化対策等に関する情報発信や主に児童に向けた環境教育を推進する。</p> <p>○県民総参加による環境実践活動の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境実践PR 新聞掲載数：全5段広告掲載3回、連載記事9回（県内企業等による鳥取エコライフ構想の推進に係る取り組みの紹介）インスタグラムを活用した身の回りのエコ活動を投稿する事業を実施した。（投稿件数約500件） ○環境教育の推進 ・ちびっこエコスタート 遊びながら家族でエコな生活を考えてもらうため、岡山県地球温暖化防止活動推進センターと中国四国地方環境事業書が作られた環境教育シート（すごろく）を鳥取県版にカスタマイズし、鳥取県下の全小学3、4年生（2,000人）に配布した。 ・エコアイデアコンテスト 応募数：698件 エコスクープに昨年度から動画で応募コースを設け、例年事業に工夫をした。応募数は例年に比べ少し減ったが、依然として東・中・西から多くの募集があった。 ・こどもゼロカーボンチャレンジ 2050年のゼロカーボンに向けて、小学生を対象とした未来の自分たちの町を考えてみるという趣旨で学校的全児童へ配布した。また、ゼロカーボンチャレンジシートとして、家庭でできるゼロカーボンアクションをまとめたリーフレットを県内小学校の全児童へ配布した。 ゼロカーボンチャレンジ：応募者数41名 ○再生可能エネルギー体験学習 再生可能エネルギーに関する体験講座「エネルギー教室」を夏休みを中心に開催。また、とっとり次世代エネルギーパークを中心に、自然体験型のエネルギーツアーを開催。 エネルギー教室は21回、エネルギーツアーは計8コース実施した。
(3) 民間団体活動支援事業	<p>地域や団体の環境実践のきっかけづくりや、他の模範となる環境活動の支援を行った。</p> <p>○こどもエコクラブ活動の支援 【交付対象】市町村【補助率】1/2 メンバー、サポーター1人あたり700円を乗じた額を上限として、市町村が登録団体に補助する額の1/2を補助（間接補助） 交付先：5市町（こどもエコクラブ数32団体、メンバー等の総数4,285人）</p> <p>○自治会等へ環境教育・学習アドバイザー派遣制度 自治会等への環境教育・学習アドバイザー派遣制度を行った。</p>

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	45,000	0	45,000	とっとり環境教育・学習アドバイザー派遣（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）
旅費	5,825	0	5,825	とっとり環境教育・学習アドバイザー派遣（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）
委託費	20,122,080	0	20,122,080	地球温暖化防止推進事業等業務委託8,089千円（地球温暖化防止活動・環境教育推進事業）、環境実践PR委託3,460千円・環境教育の推進6,573千円・再生可能エネルギー体験学習2,000千円（環境実践活動普及啓発事業）
補助金	1,091,484	0	1,091,484	こどもエコクラブ補助金（民間団体活動支援事業）
合計	21,264,389	0	21,264,389	（単位：円）

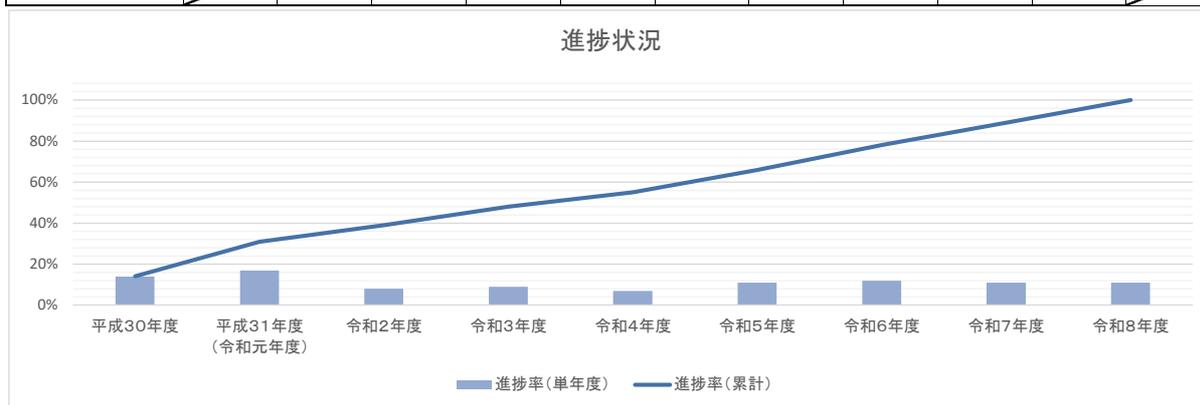
年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 （令和元年度）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		4,731	24,042	24,166	25,203	21,134	21,264	22,654	21,954	21,954	
事業費（累計）		4,731	28,773	52,939	78,142	99,276	120,540	143,194	165,148	187,102	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	環境教育・実践推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・実践推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)		14%	17%	8%	9%	7%	11%	12%	11%	11%	
進捗率 (累計)		14%	31%	39%	48%	55%	66%	78%	89%	100%	



令和5年度 事業報告書

事業名	若者がつなぐトットリポーン！促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	若者がつなぐトットリポーン！促進事業	開始年度	令和2年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和8年度

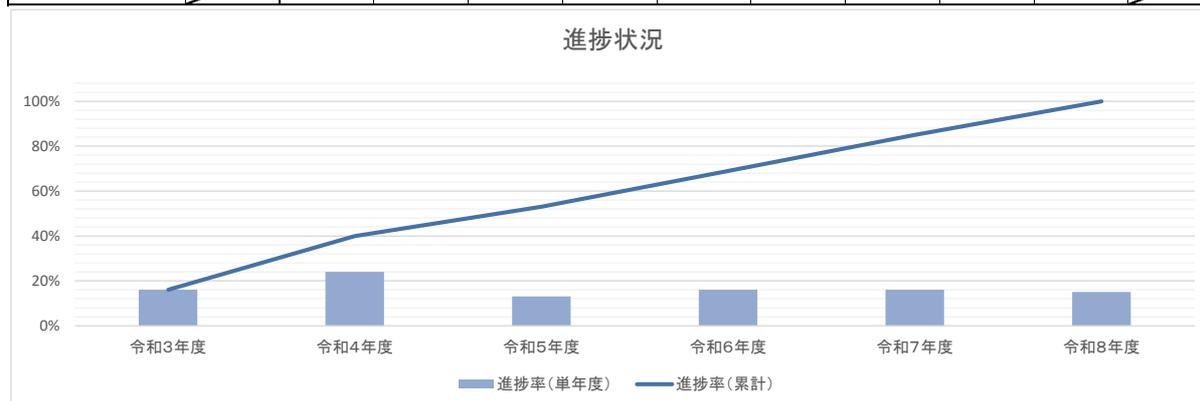
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	7,031,182	420,000	6,611,182	トットリポーン！使節団
補助金	1,570,494	0	1,570,494	若者に任せろ！トットリポーンドミノキャラバン
合計	8,601,676	420,000	8,181,676	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)				3,363	953	2,187	8,182	18,456	20,000	20,000	
事業費 (累計)		0	0	3,363	4,316	6,503	14,685	33,141	53,141	73,141	

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)					16%	24%	13%	16%	16%	15%	
進捗率 (累計)		0%	0%	0%	16%	40%	53%	69%	85%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	水素エネルギー啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	水素エネルギー啓発事業	開始年度	令和 3 年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 2050年「脱炭素社会」の実現に向けた取組として、再生可能エネルギーの一層の推進に資する水素に対する県民理解の促進を進める。</p> <p>【目標】 普及啓発イベントの来場・参加者数（キャンペーン等含む）累計5,000人</p> <p>【令和 5 年度実績】 普及啓発イベントの来場・参加者数（キャンペーン等含む） 1,808人（累計3,137人）</p>

2. 概要

再生可能エネルギーを含め多種多様なエネルギー源から製造し、貯蔵・運搬することができ、かつ電気・熱を取り出すことができる「水素エネルギー」についての実証や環境教育を通して、脱炭素社会の実現を目指す。

3. 根拠法令等

<p>○経済産業省の「次世代エネルギーパーク」制度 ○とっとり次世代エネルギーパーク計画 ○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 水素エネルギー体験教室	<p>エネルギーパークの東部地区の中核施設となる環境学習拠点「とっとり水素学習館」で、再生可能エネルギーを利用する「水素社会」について学ぶ環境教育を実施する。</p> <p>以下の内容を委託事業により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科見学受け入れプログラムの開発（教育機関との連携） ・教育プログラムの開発 ・指導員の養成 ・学習用品の拡充 等

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	777,002	0	777,002	水素エネルギー体験教室
合計	777,002	0	777,002	(単位：円)

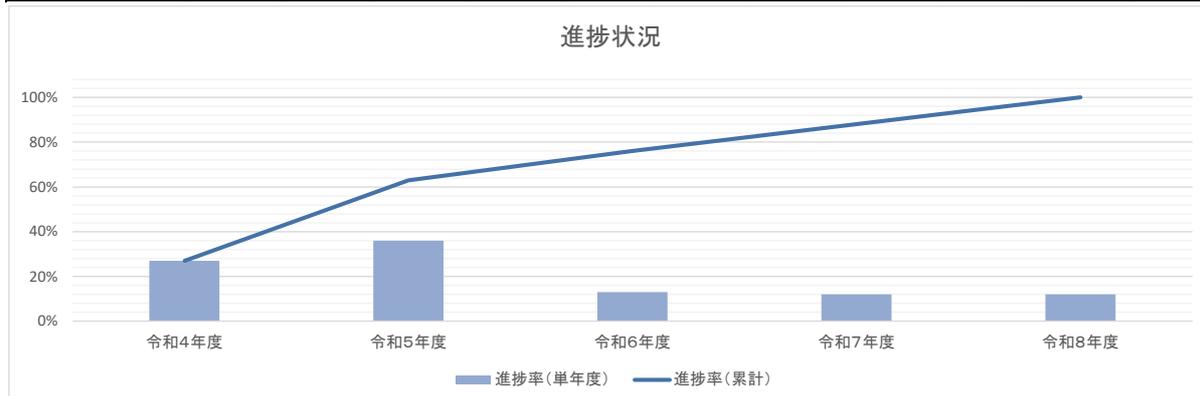
年度（単位：千円）	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）						689	777	1,000	1,000	1,000	
事業費（累計）						689	1,466	2,466	3,466	4,466	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	水素エネルギー啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	水素エネルギー啓発事業	開始年度	令和 3 年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)						27%	36%	13%	12%	12%	
進捗率 (累計)						27%	63%	76%	88%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	鳥取スタイルPPA導入推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	鳥取スタイルPPA導入推進事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 太陽光についての疑問の解消や普及啓発を行い、家庭及び企業での太陽光発電の更なる導入拡大を目指す。</p> <p>【目標】 相談対応件数200件、持家着工数における太陽光発電導入割合35%</p> <p>【令和 5 年度実績】 相談対応件数 12件、持家着工数における太陽光発電導入割合37%</p>

2. 概要

住宅用太陽光発電について一般家庭や企業に対する相談対応及び普及啓発事業を行う窓口を設置する。

3. 根拠法令等

○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン (令和 2 年 3 月策定)

4. 実施内容等

区分	内容
	<p>太陽光発電について家庭や企業に対する相談対応及び普及啓発事業を行う窓口を設置した。 <業務内容> (1) 太陽光発電導入に関する基礎知識の普及啓発 ・所有形態 (自己所有/PPA/リース) の選択肢の紹介やFIT制度等基礎知識の紹介を目的に、工務店向け勉強会を実施。(1回) ・HPを活用した普及啓発の他、太陽光導入手法やQ&AをまとめたPR冊子を作成。 (2) 太陽光発電導入を検討者への相談対応 ・相談窓口を設置し、太陽光発電導入に関心を持つ住民・企業への対応を行った。</p>

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	3,515,500	0	3,515,500	・太陽光発電等に関する窓口開設及び普及啓発 (エコパートナーとっとり) 2,200,000円 ・家庭用太陽光発電普及啓発業務 (鳥取県木造住宅推進協議会) 1,017,500円 ・再エネ普及促進ポスターイラスト制作 199,000円 ・とっとりスタイルPPA等再エネ導入理解促進イラスト制作業務 99,000円
合計	3,515,500	0	3,515,500	(単位:円)

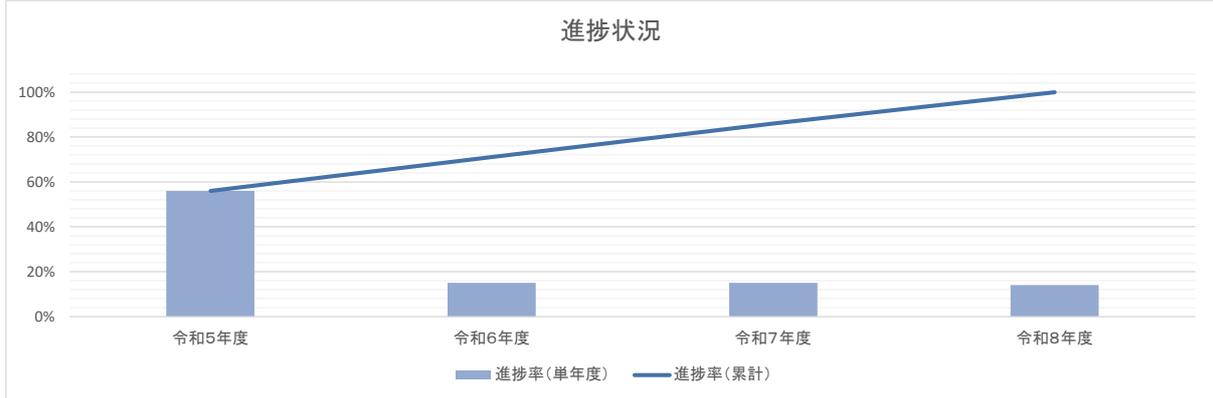
年度 (単位:千円)	~平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)							3,515	6,000	6,000	6,000	
事業費 (累計)							3,515	9,515	15,515	21,515	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	鳥取スタイルPPA導入推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	鳥取スタイルPPA導入推進事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	脱炭素社会推進課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)							56%	15%	15%	14%	
進捗率 (累計)							56%	71%	86%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 ごみゼロ社会の実現に向けて、ごみ排出量の一層の削減を図るため、食品ロス削減に重点化した取組を継続実施し、県民を挙げたごみゼロ意識の醸成を図る。</p> <p>【目標】 啓発活動実施累計件数 24回 (令和 4～8 年度)</p> <p>【令和 5 年度実績】 啓発活動実施累計件数 6回(令和 4 年度～ 累計10回)</p>

2. 概要

<p>鳥取県では、令和 2 年 3 月に策定した鳥取県廃棄物処理計画において「持続可能な循環型社会の構築」を基本理念とし、ごみの発生抑制につながる取組、中でも食品ロスの削減を重点的に取り組むこととし、子どもから大人まで全県民が一体となった、家庭や地域(買物、外食等)での実践的な運動を展開する。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン (令和 2 年 3 月策定)</p> <p>○廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画 (令和 2 年 3 月策定)</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) ごみゼロポスターコンクール事業	県内全域の小中高生を対象に、プラごみの排出抑制や食品ロス削減を呼びかけるポスターを募集し、ポスター作成を通して、児童生徒のごみゼロへの意識の深化を図った。 また、最優秀を受賞したポスターについては、県内公共施設等へ掲示を要請し、マイボトル運動やプラごみゼロチャレンジなどの県事業に活用することで、県民全体への意識啓発を図った。 ○ポスター応募数：143件
(2) 幼児を対象とした意識啓発活動	幼少期から食べ残しを減らす意識や物を大事にする意識を醸成するため、実践活動団体に委託して、歌、絵本や紙芝居等を使った啓発活動を行った。 ○実施箇所 県内の保育所・幼稚園・認定こども園等 27か所
(3) Let's 4 R 実践活動推進補助金	環境講演会の開催、生ごみコンポストの推進など、ごみ減量・リサイクルの実践活動に対して支援を行った。 交付先：3 市町 1 団体 (補助率：1/2、限度額：500千円)
(4) おいしい! とっとり 30・10 食べきり運動 (啓発活動)	忘新年会や歓送迎会等の宴会シーズンを中心に、宴会での食べ残しを減らす「3010 食べきり運動」の実施と定着を図るため、ポスター5,000枚、卓上POP2,500枚を製作し、関係団体への協力要請や啓発活動を行った。
(5) スーパー等でのキャンペーン実施など啓発活動	スーパー等を対象とした賞味期限や食べきりに係る食品ロス削減の啓発 (啓発POPの配布・掲示) を実施したほか、飲食店等を対象とした食べきり等食品ロス削減に係る必要な啓発資材を作成し、啓発を実施した。
(6) もったいない! 食べ残しゼロ事業 (もったいない! 食べ残しゼロ事業から統合)	「とっとり食べきり協力店」の登録依頼、協力店へのドギーバッグ配布を通じた持ち帰りの促進、新聞広告等を活用した取組の周知などにより、食べ残しゼロによる食品ロスの削減を図った。 ○ドギーバッグ6,000個作成 ○飲食店への「とっとり食べきり協力店」への登録依頼 (約2,000店舗) ○広告掲載数 3 回 (地域誌 2 回、新聞 1 回) 等
(7) フードドライブ活動推進事業 (もったいない! 食べ残しゼロ事業から統合)	事業所や市町村等と連携した「フードドライブ」を実施し、活動への理解と取組の促進を図った。 実施期間：①令和 5 年 7 月、② 9～10 月、③令和 6 年 1～2 月 実施場所：①県庁機関を含む 19 市町村 計 29 窓口で実施 ②県庁期間を含む生協支所等 計 20 窓口で実施 ③県庁機関を含む 19 市町村 計 30 窓口で実施 寄付食品数：合計 5,317 点 (5,024kg)

令和 5 年度 事業報告書

事業名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	新規・継続区分	継続
事項名	ごみゼロ社会実現化県民プロジェクト事業	開始年度	平成30年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和 8 年度

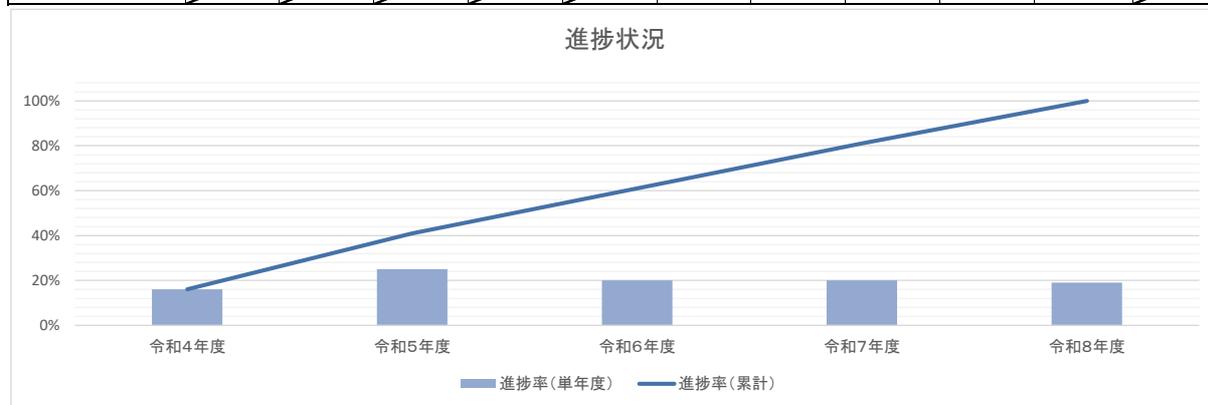
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	67,320	0	67,320	記念品（ごみゼロポスターコンクール事業）
印刷製本費	184,030	0	184,030	スーパー等でのキャンペーン実施など啓発活動36,300円、おいしい！とっとり30・10食べきり運動114,730円、ごみゼロポスターコンクール事業33,000円
委託費	7,082,857	0	7,082,857	幼児を対象とした意識啓発活動623,751円、もったいない！食べ残しゼロ事業3,625,820円、おいしい！とっとり30・10食べきり運動485,100円、フードドライブ活動推進事業2,348,186円
補助金	430,415	0	430,415	Let's 4 R 実践活動推進補助金
合計	7,764,622	0	7,764,622	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)			1,633	1,541	2,551	5,974	7,765	7,188	7,188	7,188	
事業費 (累計)			1,633	3,174	5,725	11,699	19,464	26,652	33,840	41,028	

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)						16%	25%	20%	20%	19%	
進捗率 (累計)						16%	41%	61%	81%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 近年、国際的な問題となっている海洋プラスチックごみ等のプラスチックごみ問題について、県民への問題意識を喚起するため、プラスチックごみの現状や課題、問題解決に向けた取組を実施し、プラスチックごみの減量とリサイクル推進を図る。</p> <p>【目標】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 85件</p> <p>【令和 5 年度実績】 プラごみ削減取組協力企業等の登録件数 5 件（令和元年度～ 累計 6 2 件）</p>

2. 概要

<p>プラスチックごみゼロ社会の実現に向けて、県民、企業、行政が一体となってプラスチックごみの排出抑制や再資源化を推進する。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定） ・廃棄物処理法⇒鳥取県廃棄物処理計画（令和 2 年 3 月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) とっとりプロギング開催事業	<p>ごみ拾いをしながらジョギング（プロギング）する大会を開催し、健康志向の高い県民を取り込みごみ拾いに参加していただくことで、プラごみゼロの意識向上を図るべく準備を進めたが、当日雨天中止となった。 開催予定日：令和 5 年 1 1 月 1 2 日（日） 申込者数：4 0 人</p>
(2) マイボトル使用推進事業	<p>プラスチック製品の使用抑制の取組を県民に促すため、マイボトル運動キャンペーンの実施を通じてプラごみ問題への意識啓発を図った。 実施時期：令和 5 年 1 0 月 1 5 日～1 2 月 1 5 日 実施内容：協力店でマイボトルを使用するとスタンプがもらえ、抽選に参加できるスタンプキャンペーンと、マイボトルを使用している写真を SNS に投稿した県民の中から抽選で景品があたる SNS 投稿キャンペーンを実施。</p>
(3) 「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金	<p>地域住民等の団体が実施するプラごみ削減に関する取り組みに対して支援を行った。 交付先：1 市 2 団体（補助率：1 / 2、限度額：2 5 0 千円）</p>

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
役務費	1, 886	0	1, 886	保険料（とっとりプロギング開催事業）1, 886円
委託費	1, 448, 000	0	1, 448, 000	マイボトル使用推進事業880, 000円、とっとりプロギング開催事業568, 000円
補助金	441, 098	0	441, 098	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業補助金
合計	1, 890, 984	0	1, 890, 984	（単位：円）

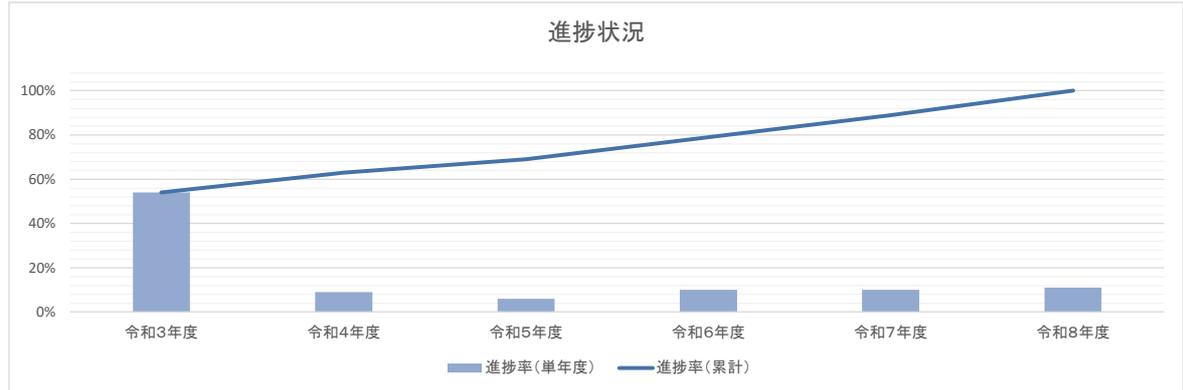
年度（単位：千円）	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 （令和元年度）	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）			923	144	6, 306	5, 115	1, 891	3, 813	3, 813	3, 813	
事業費（累計）			923	1, 067	7, 373	12, 488	14, 379	18, 192	22, 005	25, 818	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	新規・継続区分	継続
事項名	「とっとりプラごみゼロ」チャレンジ事業	開始年度	令和元年度
担当部署	循環型社会推進課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)					54%	9%	6%	10%	10%	11%	
進捗率 (累計)					54%	63%	69%	79%	89%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	自然共生サイト保全活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	自然共生サイト保全活動推進事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	自然共生課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 鳥取県生物多様性地域戦略に基づき、多様な主体と連携した生物多様性の保全を推進するため、地域住民・団体と企業とが連携した保全活動を推進するとともに、自然共生サイトへの登録を通じて、本県の豊かで美しい自然を守り未来に引き継いでいく機運の醸成を図る。</p> <p>【目標】 県内において希少生物の保護や外来生物の防除等の生物多様性の保全に係る活動への参加団体数 40団体</p> <p>【令和 5 年度実績】 県内において希少生物の保護や外来生物の防除等の生物多様性の保全に係る活動への参加団体数 21団体</p>

2. 概要

金融機関等と連携した自然共生サイトへの登録や生物多様性の保全に向けた推進体制を構築するとともに、生物多様性保全の普及啓発フォーラムを開催することで、認定促進に向けた県民の機運醸成を図る。

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定） ○生物多様性基本法→生物多様性国家戦略→鳥取県生物多様性地域戦略 ○生物多様性地域連携促進法 ○特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

4. 実施内容等

区分	内容
(1) 外来生物対策の推進に関するフォーラム	外来生物対策を含めた生物多様性の保全を推進するため、国立環境研究所の五箇公一氏を講師に迎え「とっとり生物多様性フォーラム」を開催し、生物多様性保全への理解に向けた機運醸成を図った。

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	2,341,985	0	2,341,985	外来生物対策の推進に関するフォーラム
使用料及び賃借料	198,110		198,110	
合計	2,540,095	0	2,540,095	(単位：円)

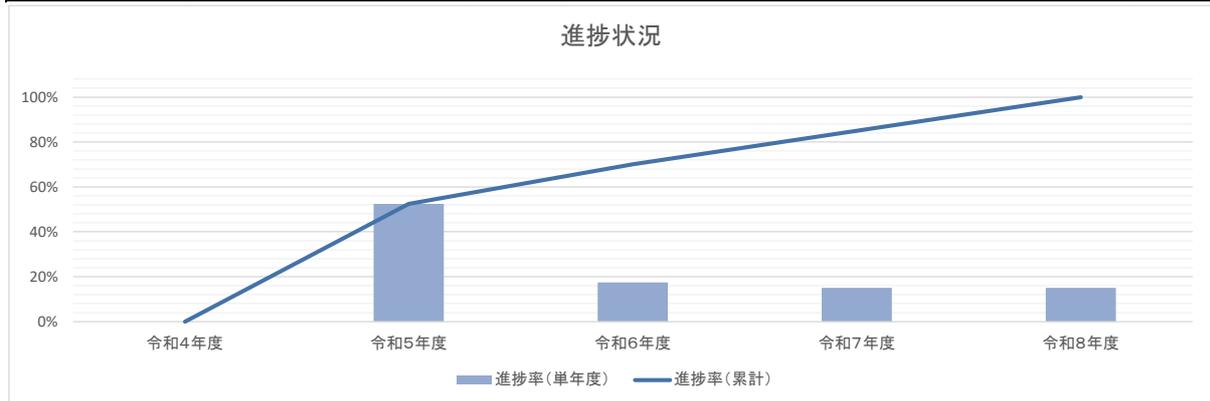
年度（単位：千円）	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費（単年度）						0	2,540	2,129	2,129	2,129	
事業費（累計）						0	2,540	4,669	6,798	8,927	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	自然共生サイト保全活動推進事業	新規・継続区分	新規
事項名	自然共生サイト保全活動推進事業	開始年度	令和 5 年度
担当部署	自然共生課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)						0%	52.5%	17.5%	15%	15%	
進捗率 (累計)						0%	53%	70%	85%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	開始年度	令和 4 年度
担当部署	住宅政策課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 県独自の健康省エネ住宅性能基準により建設される高性能省エネ住宅（とっとり健康省エネ住宅）の普及を図り、県民の健康維持・増進、住宅の省エネ化及びCO2排出量の削減を目指す。</p> <p>【目標】 木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合 73%</p> <p>【令和 5 年度実績】 木造建て住宅の新築着工戸数に対するとっとり健康省エネ住宅の割合 38%</p>

2. 概要

<p>国の省エネ基準を上回る高い省エネ性能を持つ住宅を普及させることで、県民の健康の維持・増進、省エネ化の推進及びCO2の削減を図ることを目的に、戸建住宅における県独自の健康省エネ住宅性能基準を令和 2 年に策定し、さらに既存住宅の省エネ改修に係る県独自基準を令和 4 年に策定した。新築と既存住宅改修により住宅の省エネ化を進めていくために、健康省エネ住宅による健康への影響や光熱費の削減効果等をまとめた広報物を作成し、普及啓発を図る。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和 2 年 3 月策定）</p>

4. 実施内容等

区分	内容
(1) とっとり健康省エネ住宅の普及・情報発信等	県民の健康省エネ住宅に対する認知度を上げていくため、デジタルサイネージや YouTube を活用した広告掲載のほか新聞、子育て世帯を対象として無料配布冊子等へ記事掲載を行った。

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	5,063,585	0	5,063,585	とっとり健康省エネ住宅の普及・情報発信等
合計	5,063,585	0	5,063,585	(単位：円)

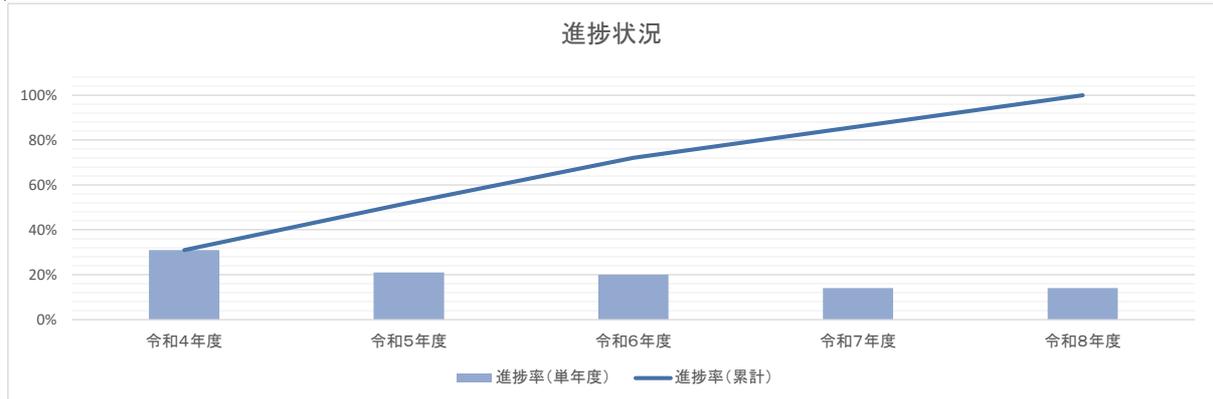
年度 (単位:千円)	~平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)						5,224	5,064	15,624	10,000	10,000	
事業費 (累計)						5,224	10,288	25,912	35,912	45,912	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	新規・継続区分	継続
事項名	とっとり健康省エネ住宅普及促進事業	開始年度	令和 4 年度
担当部署	住宅政策課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)						31%	21%	20%	14%	14%	
進捗率 (累計)						31%	52%	72%	86%	100%	



令和 5 年度 事業報告書

事業名	”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	開始年度	令和 2 年度
担当部署	水環境保全課	終了年度	令和 8 年度

1. 目的及び目標 (値)

<p>【目的】 県民の貴重な資源である中海の豊かな自然や恵みを次世代へ引き継ぐため、地域住民に対して中海の生態系やそれを守ろうとする住民活動をわかりやすく動画で伝え、地域住民の環境保全の行動を促すための意識醸成を図るとともに次世代を担う子供たちを対象に中海周辺の身近な生物について現地体験型の教育普及活動を行う。</p> <p>【目標】 平成30年度から令和 8 年度まで、延べ40拠点での普及啓発を行う。</p> <p>【令和 5 年度実績】 普及啓発を行った拠点数 0 拠点 (令和 2 年度～ 累積 4 拠点)</p>

2. 概要

<p>ラムサール条約登録湿地の中海に生息する植物、魚介類、鳥類等の映像のほか、気候風土、歴史や生態系と人とのつながり、さらに地域住民や団体が行っている環境保全活動の動画を制作し、次世代を担う子どもたちをはじめとする県民向けの環境教育及び情報発信を行う。また、県内で実施する中海利活用イベント等での上映を行い、地域住民の環境保全への意識醸成を図る。公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団が行う中海の身近な生き物に関する普及啓発活動に米子市を通じて助成する。 なお、令和 2 年度 (湿地登録15周年)、令和 6、7 年度 (同20周年) に 2 回の動画制作を予定。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第 2 次鳥取県環境基本計画→第 2 期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン (令和 2 年 3 月策定)</p> <p>○湖沼水質保全特別措置法 (昭和59年 7 月27日法律第61号)</p> <p>○湖沼水質保全基本方針 (平成18年 1 月26日環告第29号)</p> <p>○中海に係る湖沼水質保全計画 (第 7 期, 令和 2 年 3 月)</p> <p>○鳥取県補助金等交付規則 (昭和 32 年鳥取県規則第 22 号)</p> <p>○鳥取県美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金交付要綱 (令和 2 年 3 月25日付第201900312876号)</p>

4. 実施内容等

区分	内容
美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金	<p>【交付対象】米子市 (公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団)</p> <p>【補助率】県1/2 市1/2</p> <p>○環境保全動画による普及啓発 令和 5 年度普及啓発地点数 0 件</p> <p>○公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団への補助金</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習、普及啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> こどもエコクラブ (187名参加) こどもラムサールクラブ (70名参加) 「中海・彦名にすむ鳥類」と題し、鳥類の標本・パネルを展示 (彦名公民館) 普及啓発に関する調査研究 (鳥学会・兵庫県立人と自然の博物館) 他 6 事業 (延べ210名参加) ・生態系の実態把握 <ul style="list-style-type: none"> 生き物標本制作委託 (4 点) 珍鳥カレンダー (230部配布)

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	1, 250, 000	0	1, 250, 000	美しく豊かな水環境を次世代につなぐ環境教育推進事業補助金 (単位: 円)
合計	1, 250, 000	0	1, 250, 000	

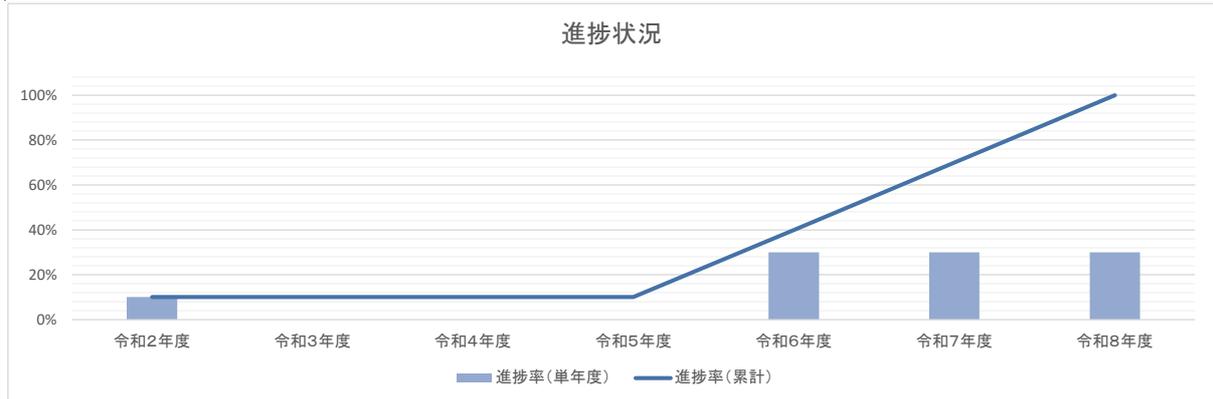
年度 (単位: 千円)	~平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
事業費 (単年度)				2, 050	1, 250	1, 250	1, 250	1, 408	6, 408	1, 408	
事業費 (累計)				2, 050	3, 300	4, 550	5, 800	7, 208	13, 616	15, 024	

令和 5 年度 事業報告書

事業名	”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	”ラムサール条約登録湿地” 中海の水質浄化対策とワイズユース推進事業	開始年度	令和 2 年度
担当部署	水環境保全課	終了年度	令和 8 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率 (単年度)				10%	0%	0%	0%	30%	30%	30%	
進捗率 (累計)				10%	10%	10%	10%	40%	70%	100%	



令和5年度 事業報告書

事業名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	水環境保全課	終了年度	令和8年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 ラムサール条約登録湿地である中海の流入源対策をはじめ、湖山池、東郷池及び中海における自然環境の保全、環境問題の普及啓発などの活動を実施する自治会又は環境保全団体等を支援し、県民との協働による湖沼の自然環境の保全及び賢明な利用を推進する。</p> <p>【目標】 「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体数 45団体</p> <p>【令和5年度実績】 「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」交付団体 4団体（平成30年度～ 累計17団体）</p>

2. 概要

<p>次の間接補助事業に「みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金」を交付する。</p> <p>○自然環境創造事業（ビオトープの保全・再生／水質浄化対策（ヨシ等の水生植物の植栽を含む）／貝類、稚魚等の放流／地域の伝統的な環境の創造・保全に資する事業）</p> <p>○普及啓発事業（生物多様性からの地域づくりの推進（外来種の防除、湖沼の生態系のPR活動等、湖沼の生物多様性の確保に資するもの）／環境問題の普及啓発活動（湖沼の自然環境の保全に関するもの）／利活用を促進する活動（湖面を利用するスポーツ体験及び湖沼の産物を使った調理体験の実践等、地域における湖沼の利活用を促進するもの））</p> <p>○流入源対策事業 中海及びその上流地域において河川等の清掃活動を行うこと。</p>

3. 根拠法令等

<p>○鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例→第2次鳥取県環境基本計画→第2期とっとり環境イニシアティブプラン→令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン（令和2年3月策定）</p> <p>○鳥取県補助金等交付規則（昭和32年 鳥取県規則第22号）</p> <p>○みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金交付要綱</p> <p>○平成23年3月28日付第201000194915号鳥取県生活環境部長通知</p>

4. 実施内容等

区分	内容
みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金	<p>【交付対象】 鳥取市（湖山池アダプトプログラム実行委員会） 鳥取市（ひょうたん島実行委員会） 湯梨浜町（東郷池の水質浄化を進める会） 米子市（NPO法人中海再生プロジェクト）</p> <p>【補助率】鳥取市・湯梨浜町（県1/2・市町1/2）、米子市（県2/3・市1/3）</p> <p>○湖山池（交付先：2団体） ・湖山池周辺を清掃し、環境保全に対する啓発活動を行った。 秋の早朝一斉清掃：令和5年10月13日（金） 参加 9団体（延べ110名） 春の一斉清掃：令和6年3月10日（日） 参加 10団体（延べ97名） ・湖山池オアシスパーク湖岸の浅瀬でシジミ狩りを実施した。 令和5年8月5日（土） 参加 240名</p> <p>○東郷池（交付先：1団体） ・東郷池の水質浄化を図り、良好な環境保全への意識醸成を進めるため、地元中学生と東郷池在来水生植物「セキショウモ」を池の浅場に移植し、周辺の清掃活動を行った。</p> <p>○中海（交付先：1団体） ・中海体験クルージング（クルーザー・ヨットによる中海周遊）、中海環境フェアinよなご（中海の利活用を行っている団体等による中海の水質浄化を中心とした体験型学習の展示等）を行った。</p>

令和5年度 事業報告書

事業名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	湖山池・東郷湖及び三湖沼共通水質浄化対策推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	水環境保全課	終了年度	令和8年度

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	785,781	0	785,781	みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金 (鳥取市161千円、湯梨浜町25千円、米子市600千円)
合計	785,781	0	785,781	(単位：円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		660	925	208	66	682	786	1,885	1,885	1,885	
事業費 (累計)		660	1,585	1,793	1,859	2,541	3,327	5,212	7,097	8,982	

6. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		4%	9%	4%	4%	7%	9%	22%	22%	19%	
進捗率 (累計)		4%	13%	17%	21%	28%	37%	59%	81%	100%	

